

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2021.10.25-31

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

- 12:13 知恵と力とは神とともにあり、
思慮と英知も神のものだ。
- 12:14 見よ。神が打ちこわすと、
それは二度と建て直せない。
人を閉じ込めると、それはあけられない。
- 12:15 見よ。神が水を引き止めると、
それはかれ、
水を送ると、地をくつがえす。
- 12:16 力とすぐれた知性とは
神とともにあり、
あやまって罪を犯す者も、
迷わす者も、神のものだ。
- 12:17 神は議官たちをはだして連れて行き、
さばきつかさたちを愚かにし、
- 12:18 王たちの帯を解き、
その腰に腰布を巻きつけ、
- 12:19 祭司たちをはだして連れて行き、
勢力ある者を滅ぼす。
- 12:20 神は信頼されている者の
弁舌を取り除き、
長老たちの分別を取り去り、
- 12:21 君主たちをさげすみ、
力ある者たちの腰帯を解き、
- 12:22 やみの中から秘密をあらわし、
暗黒を光に引き出す。
- 12:23 神は国々を富ませ、
また、これを滅ぼし、
国々を広げ、また、これを連れ去り、
- 12:24 この国の民のかしらたちの
悟りを取り除き、
彼らを道のない荒地にさまよわせる。
- 12:25 彼らは光のない所、
やみに手さぐりする。

神は彼らを酔いどれのように、
よろけさせる。

ヨブは神の主権の偉大さに対して、この世のものがいかに無力であるかを述べます。私たちが試験のときには神の強権を感じはしますが、一方神が遠い存在のように感じるでしょう。それは試験の意義でもあって、神の前にひれ伏すチャンスでもあります。

そのとき、神の偉大さがこの世のすべて（自然、罪を犯す者、惑わす者、支配者）に勝ること、さらにその偉大な神が十字架の救いによって私の父でもあられるという恵に気づくのです。

辛いときには神の前にひれ伏して、その偉大さと十字架の恵みを体験しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



26日 火曜

ヨブ記



- 13:1 見よ。
私の目はこれをことごとく見た。
私の耳はこれを聞いて悟った。
- 13:2 あなたがたの知っていることは
私も知っている。
私はあなたがたに劣っていない。
- 13:3 だが、私は全能者に語りかけ、
神と論じ合ってみたい。
- 13:4 しかし、あなたがたは
偽りをでっちあげる者、
あなたがたはみな、能なしの医者だ。
- 13:5 ああ、あなたがたが全く黙っていたら、
それがあなたがたの知恵であったろうに。
- 13:6 さあ、私の論ずるところを聞き、
私のくちびるの訴えに耳を貸せ。
- 13:7 あなたがたは神の代わりに、
なんと、不正を言うのか。
神の代わりに、欺きを語るのか。
- 13:8 神の顔を、あなたがたは
立てるつもりなのか。
神の代わりに言い争うのか。
- 13:9 神があなたがたを調べても、大丈夫か。
あなたがたは、人が人を欺くように、
神を欺こうとするのか。
- 13:10 もし、あなたがたが隠れて
自分の顔を立てようとするなら、
神は必ずあなたがたを責める。
- 13:11 神の威厳は
あなたがたを震え上がらせないだろうか。
その恐れがあなたがたを
襲わないだろうか。
- 13:12 あなたがたの格言は灰のことわざだ。
あなたがたの盾は粘土の盾だ。

- 13:13 黙れ。私にかかわり合うな。
この私が話そう。
何が私にふりかかってもかまわない。
- 13:14 それゆえ、私は自分の肉を
自分の歯にのせ、
私のいのちを私の手に置こう。
- 13:15 見よ。神が私を殺しても、
私は神を待ち望み、
なおも、私の道を神の前に主張しよう。
- 13:16 神もまた、私の救いと
なってください。
神を敬わない者は、
神の前に出ることができないからだ。
- 13:17 あなたがたは私の言い分をよく聞け。
私の述べることを
あなたがたの耳に入れよ。
- 13:18 今、私は訴えを並べたてる。
私が義とされることを私は知っている。
- 13:19 私と論争する者はいったいだれだ。
もしあれば、
そのとき、私は黙って息絶えよう。

実情をよく知りもしないで、ただ神の報いという観点から責める友人たちに対して、とうとうヨブは「能なしの医者だ」「大丈夫か」とまで言い、反論します。

もはや苦しさの中で友人を頼ることはできません。すべてが最悪の状況に思えます。ところがそこでヨブの目は神に向かいます。これが試練の目的でもあります。私たちは最後には神を求めます。ならば今から神を求めてみましょう。最悪ならば、神に向きましよう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



27日 水曜

ヨブ記



- 13:20 ただ二つの事を
私にしないでください。
そうすれば、私は
御顔を避けて隠れません。
- 13:21 あなたの手を私の上から
遠ざけてください。
あなたの恐ろしさで
私をおびえさせないでください。
- 13:22 呼んでください。私は答えます。
あるいは、私に言わせ、
あなたが私に答えてください。
- 13:23 私の不義と罪とは
どれほどでしょうか。
私のそむきの罪と咎とを
私に知らせてください。
- 13:24 なぜ、あなたは御顔を隠し、
私をあなたの敵とみなされるのですか。
- 13:25 あなたは
吹き散らされた木の葉をおどし、
かわいたわらを追われるのですか。
- 13:26 実にあなたは
私に対してひどい宣告を書きたて、
私の若い時の咎を
私に受け継がせようとされます。
- 13:27 あなたは私の足にかせをはめ、
私の歩く小道をことごとく見張り、
私の足跡にしるしをつけられます。
- 13:28 そのような者は、
腐った物のように朽ち、
しみが食い尽くす着物ようになります。

非常な苦しみにある人は、神が恐ろしく感じられて「あなたの手を遠ざけてください」と願い、また「答えてください」と願い、主を求めます。裁きの

神から逃れたいと思い、恵の神に頼りたいのです。その答えは、さばきと恵を実現した十字架にあります。

ヨブは因果応報の神観を持って、苦しみに値するような「私の不義と罪は？」と問いかけます。そのような状況で、もしも十字架の答えがあるなら、不義と罪はイエス様が負ってくださったことを再確認することができます。そしてその十字架の恵が回復に導くのです。十字架から答えをいただきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



▶28日 木曜

ヨブ記



天がなくなるまで目ざめず、
また、その眠りから起きない。

- 14:1 女から生まれた人間は、日が短く、
心がかき乱されることでいっぱいです。
- 14:2 花のように咲き出ては切り取られ、
影のように飛び去ってとどまりません。
- 14:3 あなたはこのような者にさえ、
あなたの目を開き、
私をご自身とともに、
さばきの座に連れて行かれるのですか。
- 14:4 だれが、きよい物を
汚れた物から出せましょう。
だれひとり、できません。
- 14:5 もし、彼の日数が限られ、
その月の数もあなたが決めておられ、
越えることのできない限界を、
あなたが定めておられるなら、
- 14:6 彼から目をそらして、
かまわないでください。
そうすれば、彼は日雇人のように
自分の日を楽しむでしょう。
- 14:7 木には望みがある。
たとえ切られても、また芽を出し、
その若枝は絶えることがない。
- 14:8 たとい、その根が地中で古い、
その根株が土の中で枯れても、
- 14:9 水分に出会うと芽をふき、
苗木のように枝を出す。
- 14:10 しかし、人間は死ぬと、
倒れたきりだ。
人は、息絶えると、どこにいるか。
- 14:11 水は海から消え去り、
川は干上がり、かれる。
- 14:12 人は伏して起き上がらず、

ヨブは苦しさの中で、人間のはかなさに心が傾いてゆきます。短い人生であり、人は息絶えるとすべてが無くなってしまおうという感覚です。木には望みがあるが人にはないと主張します。そのように、自分の苦しみゆえ人間存在の意味が薄らいでゆくことがあります。恐らく、“死にたい” “生きてても意味がない” という思いになる人もいることでしょう。

しかしそれは彼の結論ではありません。このような絶望は、主によるすばらしい回復へのプロセスなのです。どうにもならない落ち込みのときは、主がそばにいてくださり、すでに回復が始まっていることを知りましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



そのたましいは
自分のために嘆くだけです。

- 14:13 ああ、あなたが私をよみに隠し、
あなたの怒りが過ぎ去るまで私を潜ませ、
私のために時を定め、
私を覚えてくださればよいのに。
- 14:14 人が死ぬと、生き返るでしょうか。
私の苦役の日の限り、
私の代わりに者が来るまで待ちましょう。
- 14:15 あなたが呼んでくだされば、
私は答えます。
あなたはご自分の手で造られたものを
慕っておられるでしょう。
- 14:16 今、あなたは私の歩みを
数えておられますが、
私の罪に目を留めず、
- 14:17 私のそむきの罪を袋の中に封じ込め、
私の咎をおおってください。
- 14:18 しかし、山は倒れてくずれ去り、
岩もその所から移される。
- 14:19 水は石をうがち、
大水は地の泥を押し流す。
そのようにあなたは
人の望みを絶ち滅ぼされます。
- 14:20 あなたは、いつまでも
人を打ち負かすので、
人は過ぎ去って行きます。
あなたは彼の顔を変えて、
彼を追いやられます。
- 14:21 自分の子らが尊ばれても、
彼にはそれがわからず、
彼らが卑しめられても、
彼には見分けがつきません。
- 14:22 ただ、彼は自分の肉の痛みを覚え、

ヨブのように、苦しみのどん底にあって救いを求めるときには、それは無意識に主イエスの救いを求めることになります。すなわち、「よみに隠」れるようにして十字架で死に、「生き返る」という永遠のいのちが与えられることです。

十字架の救いの事実がはっきりしてくるなら、どのような苦しみの中にあっても、自分が神の愛の中にいることが分かってきます。「望みが絶ち滅ぼされ」るようでも、死後に「見分けが」つかないよう感じても、その絶望を超える希望が与えられるのです。

そのことを信じて、ちいさな失望の中にも、十字架からの希望を見出してみましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



- 15:1 テマン人エリファズが答えて言った。
15:2 知恵のある者は
むなし知識をもって答えるだろうか。
東風によってその腹を満たすだろうか。
15:3 彼は無益なことばを使って論じ、
役に立たない論法で論じるだろうか。
15:4 ところが、あなたは信仰を捨て、
神に祈ることをやめている。
15:5 それは、あなたの罪が
あなたの口に教え、
あなたが悪賢い人の舌を選び取るからだ。
15:6 あなたの口があなたを罪に定める。
私ではない。
あなたのくちびるが
あなたに不利な証言をする。
- 15:7 あなたは最初に生まれた人か。
あなたは丘より先に生み出されたのか。
15:8 あなたは神の会議にあずかり、
あなたは知恵を
ひとり占めにしているのか。
15:9 あなたが知っていることを、
私たちは知らないのだろうか。
あなたが悟るものは、
私たちのうちに、ないのだろうか。
15:10 私たちの中には白髪の者も、
老いた者もいる。
あなたの父よりもはるかに年上なのだ。
15:11 神の慰めと、
あなたに
優しく話しかけられたことばとは、
あなたにとっては
取るに足りないものだろうか。

- 15:12 なぜ、あなたは理性を失ったのか。
なぜ、あなたの目はぎらつくのか。
15:13 あなたが神に向かっていらだち、
口からあのようなことばを吐くとは。
15:14 人がどうして、きよくありえようか。
女から生まれた者が、
どうして、正しくありえようか。
15:15 見よ。神はご
自身の聖なる者たちをも信頼しない。
天も神の目にはきよくない。
15:16 まして忌みきらうべき汚れた者、
不正を水のように飲む人間は、
なおさらだ。

エリファズの言い分はどれも正しいものです。またヨブについても「祈ることをやめている」「知恵をひとり占めしているのか」など、まさに痛いところを突いてきます。（「能なしの医者」と言われたからでしょうか。）
しかし自分の正しさを主張することが、御心とは限りません。神の目からはヨブの方が正しい人なのです。論争になってしまったときは、「どちらが正しい人か」ではなく「主の御心は何か」に心を向けなければなりません。ヨブ記の場合はまず、神が「正しい」と言ってくださったヨブが、最初に御心を悟りました。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



- 15:17 私はあなたに告げよう。私に聞け。
私の見たところを述べよう。
- 15:18 それは知恵のある者たちが
告げたもの、
彼らの先祖が隠さなかったものだ。
- 15:19 彼らにだけ、この地は与えられ、
他国人はその中を通り過ぎなかった。
- 15:20 悪者はその一生の間、もたえ苦しむ。
横暴な者にも、
ある年数がたくわえられている。
- 15:21 その耳には恐ろしい音が聞こえ、
平和なときにも荒らす者が彼を襲う。
- 15:22 彼はやみから帰って来ることを
信ぜず、
彼は剣につけねらわれている。
- 15:23 彼は食物を求めて、
「どこだ。」と言いながら、さまよい、
やみの日がすぐそこに
用意されているのを知っている。
- 15:24 苦難と苦悩とが彼をおびえさせ、
戦いの備えをした王のように
彼に打ち勝つ。
- 15:25 それは彼が神に手向かい、
全能者に対して高慢にふるまい、
- 15:26 厚い盾の取っ手を取って
おこがましくも
神に向かって馳せかかるからだ。
- 15:27 また、彼は顔をあぶらでおおい、
腰の回りは脂肪でふくれさせ、
- 15:28 荒らされた町、人の住まない家に、
石くれの山となる所に、住んだからだ。
- 15:29 彼は富むこともなく、
その財産も長くもたず、

- その影を地上に投げかけない。
- 15:30 彼はやみからのがれることができず、
炎がその若枝を枯らし、
神の御口の息によって
彼は追い払われる。
- 15:31 迷わされて、
むなしいことに信頼するな。
その報いはむなしい。
- 15:32 彼の時が来ないうちに、
それは成し遂げられ、
その葉は茂らない。
- 15:33 彼は、ぶどうの木のように、
その未熟の実を振り落とされ、
オリーブの木のように、
その花は落とされる。
- 15:34 実に、神を敬わない者の仲間には
実りがない。
わいろを使う者の天幕は
火で焼き尽くされる。
- 15:35 彼らは害毒をはらみ、悪意を生み、
その腹は欺きの備えをしている。

信仰の先輩（彼らの先祖）から教えられることには価値があります。また悪者への報い（荒らす者、苦難、苦悩、炎など）も通念として大切なことです。エリファズは正しいのです。

しかし、ヨブの問題は正しいはずの自分が苦しんでいるという葛藤です。神は正しい方ですが、人間の考える”正しさ”に、神が服従しなければならぬということはありません。人間には理解できないことがあって当然です。

神の正しい御心を行いつつ、それをも超える神の赦しとご計画をも認め、ゆだねて従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

